

§ 調査についてのご説明

◇ 障害者生活実態調査とは？

平成 17 年度に厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）の採択を受けた研究者のグループ「障害者生活実態調査研究会」が行う社会調査です。調査票は4つにわかれています。詳しくは別紙 1 をご覧ください。

◇ 調査の目的

本調査の目的は、障害者の生活実態を家計面と生活時間面から把握することです。現在、障害者全体の生活実態を把握するために実施されている公的な調査はありません。しかし、2007 年 4 月には全国の市町村において障害者計画策定が義務づけられ、今後自治体は独自の計画に基づいて障害者施策を進めて行くことになりました。地域に暮らす障害を持った住民の実情を正確に把握することの重要性は、このように年々増えています。得られたデータはこれからの障害者施策を検討するための基礎資料として広く使用され、障害者福祉の向上に役立ちます。

今年度における調査は、厚生労働省へ報告書として提出され、インターネットなどで公開されますが、調査結果は統計的に処理したものであり、個人が特定されることはありません。

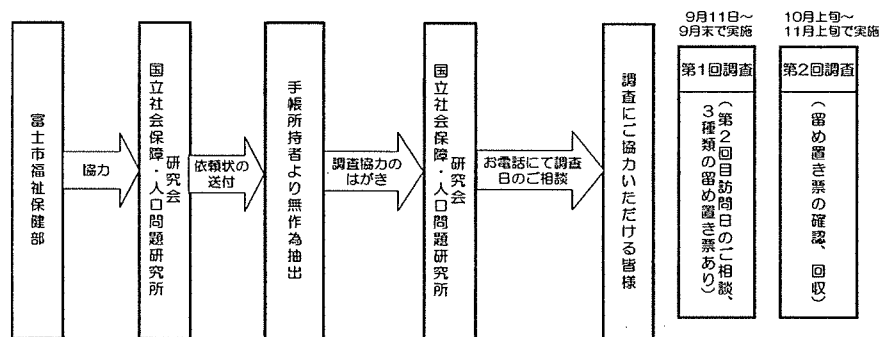
◇ 調査の対象

この調査は、富士市の福祉保健部のご協力を得て、当市に居住するさまざまな障害をお持ちの成人（18歳以上 65歳未満）を対象にさせていただきます。

◇ 調査のしくみ

この調査は、自治体の協力と了解を得て実施します。事前に調査協力願いが郵送されてきた方へ、当研究会から指導を受けた調査員が皆さまのお宅を訪問します。調査員は少なくとも2度お宅を訪問いたします。第1回目の訪問では、調査についての説明を口頭で行い、ご協力いただけるかどうかを確認させていただきます。そして、その場で協力いただく時間がとれない場合は次のお約束をとって、事前にご記入いただく調査票をお渡しします。この調査は調査員が質問をして調査員が調査票に記録するインタビュー（面接）方式でおこないます。なお、基礎調査票2と3と4については、記入方法についてご説明したあと、各自でご記入いただく部分があります。第2回目の訪問時に、調査員が回収いたします。

調査実施に介助者や通訳者を必要とする方には、個別に対応させていただきます。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて本調査研究の目的だけに用いられ、それ以外の使用はいたしません。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。また、諸事情や個人の判断でこの調査にご協力いただけなくとも、それがゆえに不利に扱われることは決してありませんのでご安心ください。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。調査の目的や調査結果の公表等については、主任研究者（勝又幸子：国立社会保障・人口問題研究所 企画部第3室長）まで、お問い合わせください。

電話 03-3595-2985（企画部代表） 電子メール yukiko-ka@ipss.go.jp Fax 03-3591-4912

別紙 1

◇ 障害者生活実態調査

この調査は次の4つの部にわかれています。

- ① 基礎調査票1 (ご本人の属性や障害の種類と程度や、ご家族のことについてお尋ねしています。) …青
- ② 基礎調査票2 (ご本人とご家族の所得、課税状況や家計支出についてお尋ねしています。) ……緑
- ③ 基礎調査票3 (ご本人の1ヶ月間の医療や介助サービスの受給状況についてお尋ねしています。) ……黄
- ④ 基礎調査票4 (ご本人の1日の生活時間についてお尋ねしています。) ……黄

ご回答いただくのは、調査の依頼を受けた「ご本人」です。ご家族や援助者の協力を得てご回答いただきますようお願いいたします。記入は自筆である必要はありません。

【基礎調査票1】については、「ご本人」と同居している方についても、お尋ねしています。この調査票は調査員が口頭で質問して記入します。同居していても、生計を共にしていない場合は同居とは考えません。血縁や婚姻関係の有無にかかわらず、生計を共にしている場合はご記入ください。施設やグループホームなどに入居している場合は、夫婦単位で入居している場合以外は、「同居者無し」と考えます。

【基礎調査票2】については、基礎調査票1で答えた世帯員全員の去年(平成17年1月～12月)の、所得、課税状況についてきています。前年度の源泉徴収票や納税証明書、貯金通帳などをご用意の上、なるべく正確なところをお答えください。また、支出については今年の9月1ヶ月間のことを思い出してお答えください。

【基礎調査票3】は、9月11日～10月10日までの1ヶ月間の通院や入院、介助サービスをうけた実態を調べます。お手数ですが、毎日の様子を記録してください。

【基礎調査票4】は、指定された日について、1日の行動を記録していただきます。指定日は9月11日～10月10日の間のふだんの活動日とお休みの日の合計2日間です。それぞれ記入した日付を調査票の右上に書き込んでいただきます。

【基礎調査票2、3、4】は、10月8日(日)～11月6日(月)に回収にまいりますので、お宅に訪問した担当調査員にお渡しください。なお、記入方法にご質問がある場合は、調査員におききいただき、第2回の訪問時にご記入いただいても結構です。

ご協力いただいた方には謝品(コンビニで使えるカード)1,000円相当を訪問ごとに用意させていただいています。ご多用のところ恐縮ですが、もれなくすべての調査票へ回答いただきますよう、ご協力をお願い致します。

生活実態調査

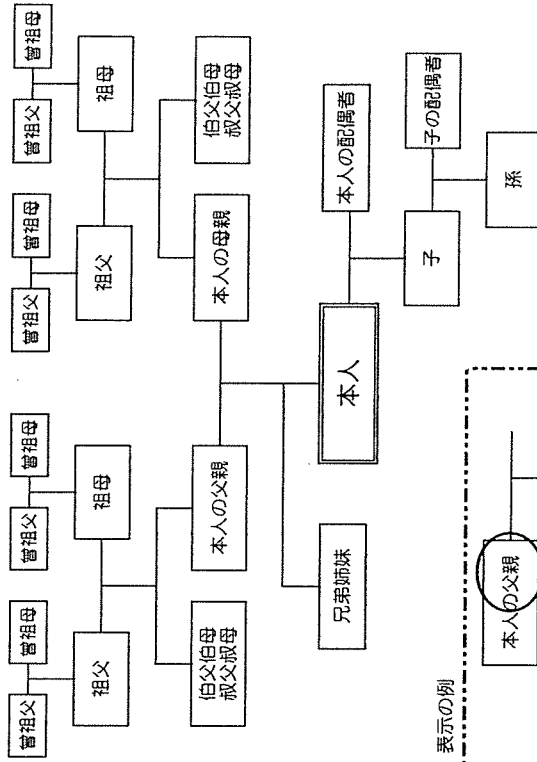
【基礎調査票 1】

- ① この調査票は調査員が口頭で質問して記入します。
- ② 基礎調査票1では「ご本人」と同居している方についても、お尋ねしています。ただし同居していても、生計を共にしていない場合は答える必要はありません。同居人は血縁や婚姻関係の有無にかかわらず、生計を共にしている場合（日々の生活費を共同でまかなっている場合）に「同居人」と考えます。
- （注）施設やグループホームなどに入居している場合は、夫婦単位で入居している場合以外は、「同居者無し」（三単身世帯）と考えてください。

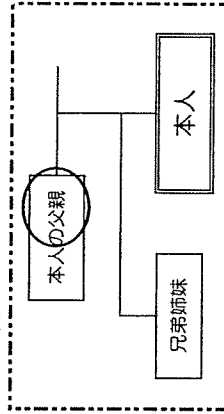
基礎調査票1の付票

注意：この票は調査員が記入します。

基礎調査票1の設問（14）で世帯主であると答えた世帯員番号（B～D）は下の図でどの続柄にあてはまるか、調査員の方は確認してください。そしてその続柄の人に○をつけてください。



表示の例



注意：この図の中で表現できない続柄の場合は、調査員が書き加えてください。

基礎調査票1 ※この票は調査員が記入します。

住居の種類		住居の状況	
(1) 住居の種類		(2) 居住世帯、住居の床面積	
(3) 単独世帯の区分(単独世帯のみ記入)			
1 持ち家	1 一戸建て 2 共同住宅	1 住み込み、寄居等に居住する単独世帯	
2 民間賃貸住宅		2 その他の単独世帯	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	床面積合計		
4 公社・公園等の賃貸住宅	坪		
5 都営・県営等の賃貸住宅	坪		
6 施設系・グループホーム	(建物のみの面積)		
7 借間・その他			

(14) 世帯主の記号
(4)から世帯主を記入

(4) 世帯員記号	(5) 本人との続柄	(6) 性	(7) 出生年月	(8) 配偶者の有無	(9) 同別居の子の有無	(10) 障害者手帳の有無	(11) 在宅の6歳以上の者の記入		(12) 主な介護者の状況		(13) 日常生活の自立の状況	(14) 世帯主の記号	
							手助けや見守りの要否	手助けや見守りが必要な者の続柄等	同別居の別	性			
A	本人	1 男	1 大正 昭和 平成 2 昭和 平成 3 平成	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 あり 内別居 ()人	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 2 療育手帳 1 A1級 2 A1級 3 A2級 4 B (級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを必要としない 2 手助けや見守りを必要とする (112)~(113)欄にも記入	主たる介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他 その他の介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの転記 2 別居	1 男 2 女	1 何らかの障害等があるが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保持 4 1日中ベッド上で過動等において介助を要する	1 11月未満 2 1月~3月未満 3 3月~6月未満 4 6月~1年未満 5 1年~3年未満 6 3年~5年未満 7 5年~10年未満 8 10年~20年未満 9 20年以上	
		2 女	1 大正 昭和 平成 2 昭和 平成 3 平成	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 あり 内別居 ()人	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 2 療育手帳 1 A1級 2 A1級 3 A2級 4 B (級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを必要としない 2 手助けや見守りを必要とする (112)~(113)欄にも記入	主たる介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他 その他の介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの転記 2 別居	1 男 2 女	1 何らかの障害等があるが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保持 4 1日中ベッド上で過動等において介助を要する	1 11月未満 2 1月~3月未満 3 3月~6月未満 4 6月~1年未満 5 1年~3年未満 6 3年~5年未満 7 5年~10年未満 8 10年~20年未満 9 20年以上	
B	配偶者の父母	1 男	1 大正 昭和 平成 2 昭和 平成 3 平成	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 あり 内別居 ()人	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 2 療育手帳 1 A1級 2 A1級 3 A2級 4 B (級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを必要としない 2 手助けや見守りを必要とする (112)~(113)欄にも記入	主たる介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他 その他の介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの転記 2 別居	1 男 2 女	1 何らかの障害等があるが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保持 4 1日中ベッド上で過動等において介助を要する	1 11月未満 2 1月~3月未満 3 3月~6月未満 4 6月~1年未満 5 1年~3年未満 6 3年~5年未満 7 5年~10年未満 8 10年~20年未満 9 20年以上	
		2 女	1 大正 昭和 平成 2 昭和 平成 3 平成	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 あり 内別居 ()人	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 2 療育手帳 1 A1級 2 A1級 3 A2級 4 B (級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを必要としない 2 手助けや見守りを必要とする (112)~(113)欄にも記入	主たる介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他 その他の介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者 7 その他	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの転記 2 別居	1 男 2 女	1 何らかの障害等があるが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保持 4 1日中ベッド上で過動等において介助を要する	1 11月未満 2 1月~3月未満 3 3月~6月未満 4 6月~1年未満 5 1年~3年未満 6 3年~5年未満 7 5年~10年未満 8 10年~20年未満 9 20年以上	

基礎調査票1 ※この票は調査員が記入します。

(4) 世帯員 記号	(5) 本人との続柄	(6) 性	(7) 出生年月	(8) 配偶者の 有無	(9) 同居の本人の 有無	(10) 障害者手帳の有無	(11) 在宅の6歳以上の者 のみ記入		(12) 主な介護者の状況		(13) 日常生活の自立の状況
							手助けや見守りを 必要とする者の 続柄等	同居の別	性		
C	01 配偶者	1 男	1 大正和成	1 配偶者あり	△	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 障害の原因: 2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを 必要としない	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの 転記 <input type="text"/>	1 男	1 回らかの障害者生活はほぼ自立しており自力で外出できる	1 1月未満 2 1月～3月未満 3 3月～6月未満 4 6月～1年未満 5 1年～3年未満 6 3年～5年未満 7 5年～10年未満 8 10年～20年未満 9 20年以上
	02 子		2 昭和成平								
	03 子の配偶者	2 女	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	3 死別	△	2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	2 手助けや見守りを必要とする	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの 転記 <input type="text"/>	1 男	3 屋内での生活は回らかの介助を要し、日中もベット上での生活が主体であるが座位を保つ	1 1月未満 2 1月～3月未満 3 3月～6月未満 4 6月～1年未満 5 1年～3年未満 6 3年～5年未満 7 5年～10年未満 8 10年～20年未満 9 20年以上
	04 孫		3 昭和成平	4 離別	△	2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	2 手助けや見守りを必要とする	2 別居	2 女	4 1日中ベット上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する	
D	01 配偶者	1 男	1 大正和成	1 配偶者あり	△	1 持っている 1 身体障害者手帳 (障害者) 障害の原因: 2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	1 手助けや見守りを 必要としない	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの 転記 <input type="text"/>	1 男	1 回らかの障害者生活はほぼ自立しており自力で外出できる	1 1月未満 2 1月～3月未満 3 3月～6月未満 4 6月～1年未満 5 1年～3年未満 6 3年～5年未満 7 5年～10年未満 8 10年～20年未満 9 20年以上
	02 子		2 昭和成平								
	03 子の配偶者	2 女	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	3 死別	△	2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	2 手助けや見守りを必要とする	1 同居 ↓ 世帯員記号 (4)欄からの 転記 <input type="text"/>	1 男	3 屋内での生活は回らかの介助を要し、日中もベット上での生活が主体であるが座位を保つ	1 1月未満 2 1月～3月未満 3 3月～6月未満 4 6月～1年未満 5 1年～3年未満 6 3年～5年未満 7 5年～10年未満 8 10年～20年未満 9 20年以上
	04 孫		3 昭和成平	4 離別	△	2 療養手帳 1 A1級なし 2 A1級 3 A2級 4 B(級なし) 5 B1級 6 B2級 3 精神障害者保健福祉手帳 1 1級 2 2級 3 3級 2 持っていない	2 手助けや見守りを必要とする	2 別居	2 女	4 1日中ベット上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する	

世帯員記号 1面(4)欄と 同じ記号へ記入	15歳以上(平成3年9月1日以前出生)の者のみ記入 (15) 「収入を伴う仕事の有無」と「不就業の理由・就業希望」
	<p>仕事あり(116)~(121)欄にも記入)</p> <p>1 主に仕事をしている</p> <p>2 仕事以外が主 内容 []</p> <p>仕事なし(その理由) → (就業希望) → (仕事否) → (希望する仕事の形)</p> <p>1 あり → 1 探している → 1 正務の職員・従業員 2 なし → 2 探していない → 2 パート・アルバイト 3 自営業 4 福祉的就労 (授産施設や作業所等) 5 その他 ()</p> <p>1 家事(専業)のため 2 就学のため 3 病気療養中のため 4 常に介護を必要とするため 5 通帳がないため 6 働く必要がないため(その理由:) 7 その他 ()</p>
	<p>仕事あり</p> <p>1 主に仕事をしている</p> <p>2 仕事以外が主 内容 []</p> <p>仕事なし(その理由) → (就業希望) → (仕事否) → (希望する仕事の形)</p> <p>1 あり → 1 探している → 1 正務の職員・従業員 2 なし → 2 探していない → 2 パート・アルバイト 3 自営業 4 福祉的就労 (授産施設や作業所等) 5 その他 ()</p> <p>1 家事(専業)のため 2 就学のため 3 病気療養中のため 4 常に介護を必要とするため 5 通帳がないため 6 働く必要がないため(その理由:) 7 その他 ()</p>

◎15歳以上の若で(15)欄で「仕事あり」の本人のみの記入。

(16) 勤めの状況	(17) 勤め先などの企業全体の 従業員数	(18) ふだんの1週間の就業時間
<p>1 自営業</p> <p>2 会社、団体の役員</p> <p>3 常用雇用労働者 期間を定めない雇用</p> <p>4 臨時雇、日雇い パート・アルバイト・契約</p> <p>5 授産施設での就労</p> <p>6 地域の作業所での就労</p> <p>7 福祉工場での就労</p> <p>8 NPO法人等の事務所で就労 ()</p> <p>9 その他 []</p>	<p>1 おおよそ [] 人</p> <p>2 官公庁</p>	<p>1 おおよそ [] 時間</p> <p>2 決まっていない (直近1週間の就業時間 数:)</p>
(19) 仕事の種類・内容	(20) 現在の就労による収入(月額)	(21) 就業年数 (前職を含む延べ期間)
種類・内容 []	おおよそ [] 円	[] 年 [] か月

基礎調査票1 ※この票は調査員が記入します。

15歳以上(平成3年9月1日以前出生)の者のみ記入 (15)	
「収入を伴う仕事の有無」と「不就業の理由・就業希望」	
C	<p>仕事あり</p> <p>1 主に仕事をしている</p> <p>2 仕事以外が主 内容 []</p> <p>仕事なし(その理由) → (就業希望) → (仕事を) → (希望する仕事の形)</p> <p>1 あり → 1 探している → 1 正規の職員・従業員</p> <p>2 なし → 2 探していない → 2 パート・アルバイト</p> <p>3 病氣療養中のため</p> <p>4 常に関護を必要とするため</p> <p>5 通園がないため</p> <p>6 働く必要がないため(その理由:)</p> <p>7 その他()</p>
D	<p>仕事あり</p> <p>1 主に仕事をしている</p> <p>2 仕事以外が主 内容 []</p> <p>仕事なし(その理由) → (就業希望) → (仕事を) → (希望する仕事の形)</p> <p>1 あり → 1 探している → 1 正規の職員・従業員</p> <p>2 なし → 2 探していない → 2 パート・アルバイト</p> <p>3 病氣療養中のため</p> <p>4 常に関護を必要とするため</p> <p>5 通園がないため</p> <p>6 働く必要がないため(その理由:)</p> <p>7 その他()</p>

生活実態調査

【基礎調査票 2】

- ① この調査票は、記入方法の注意説明だけ調査員から受けて、次回調査票の回収に来るときまでに、各自で記入しておいてください。
- ② 基礎調査票1で答えた世帯員全員の去年（平成17年1月～12月）の、所得、課税状況についてきています。前年度の源泉徴収票や納税証明書、貯金通帳などを用意の上、なるべく正確なところをお答えください。
- ③ 支出については、原則今年（平成18年）9月の1ヶ月間のことをきています。思い出して、おおよそで結構ですからお答えください。

基礎調査票2 ※この票はみなさんが次の訪問までにご記入ください。

* 去年（平成17年1年間）について金額で回答して下さい。源泉徴収票など納税関係の書類をご覧いただきご回答に役にとらまひ。

世帯員記号 1面(4項と 同じ記号へ記入)	A(本人)	B(続柄)	C(続柄)	D(続柄)
(22) 雇用者所得 (仕事による収入)	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円
(23) 公的年金 (障害年金)	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円
(24) 公的年金 (障害年金以外)	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円
(25) 雇用保険	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円
(26) 生活保険	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円
(27) 手当 (障害に關して)	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円
(28) 手当 (障害以外)	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円
(29) 仕送 (様から)	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円
(30) 企業年金等	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円
(31) その他所得	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円
(32) 所得	1 課税あり 2 課税なし 3 課税なし	1 課税あり 2 課税なし 3 課税なし	1 課税あり 2 課税なし 3 課税なし	1 課税あり 2 課税なし 3 課税なし
(33) 住民税	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし
(34) 社会保険料	1 支払あり 2 支払なし 3 課税なし	1 支払あり 2 支払なし 3 課税なし	1 支払あり 2 支払なし 3 課税なし	1 支払あり 2 支払なし 3 課税なし

調査員A、上記回答にゼロも記入されていない場合は、記入忘れが、わからないかを調査員が確認してください。そして、記入の無い理由をメモしてください。

(ここでお答えいただくのは今年9月中の、世帯全体の支出額です。現金とクレジットをきんだ金額を記入してください。)

平成18年9月中の家計支出地別	万円	千円	円	円
(35) 家賃(管理費を含む)				
(37) ローン返済				
(38) 食費(外食を含む飲食費)				
(39) 交通				
(40) 光熱水道				
(41) 通信(固定電話、携帯電話、インターネット接続料を含む)				
(42) 趣味・嗜好品(本やパソコン関連、たばこ)				
(43) その他(別居することの経費、住宅ローン、借入金、借付金など、金額的に負担が大きいものを選択して記入してください)				
(44) 介助等を受けた時の自己負担額				
(45) 医療費自己負担分				
(46) 雑費(購入、自己負担分、保守費用を含む)				
(47) 保険料(カック内、内自を記入) 別: お酒代、健康保険代、保険料以外の雑費				
(48) 子どもの他、本人の雑費に關する支出 (カック内に内自を記入) 別: 携帯機別による携帯電話料、特定のパソコン/周辺機器、パソコン、車の改修費、特定の料代、高鉄ソフトなど				
(49) 住宅改修費 (これまでにかかった特別)				

B さらには、回答者が今の経済状況で感じていることを、ご自分で記入ください。(横書きに添って記入してもらっても結構です。)

生活実態調査

【基礎調査票 3】

- ① この調査票は、記入方法の注意説明だけ調査員から受けて、次回調査票の回収に来るときまでに、各自で記入しておいてください。
- ② 基礎調査票3では、9月11日～10月10日までの1ヶ月間の、あなた自身の通院や入院、介助サービスをつけた実態をきいています。お手数ですが、毎日の様子を記録してください。

基礎調査票3 ※この票はみなさんが次回の訪問までにご記入ください。

医療の受療状況、福祉サービス等の給付状況

9月11日から10月10日までの間、医療機関（医師または歯科医師）に通院または入院した場合、あるいは、福祉サービス等による給付を受けられた場合には、下記の記入要領に従って記入してください。

		A(本人)				
		医療の受療状況		福祉サービスの受給状況		
		治療費支払方法		1 身体介護 2 家事援助 3 移動介護 4 日常生活支援 5 テイクケア 6 その他 7 介護保険制度によるサービス		
(51) 医療の受療状況	医療保険負担					
(52) 福祉サービスの受給状況	公費負担					
				入院した日	居宅サービス利用日 (デイケアや作業所はこちら)	施設サービス利用日 (入所施設に限る)
		平成18年 9月～10月	通院した日			
			歯科以外	歯科		
(53) 通院及びその他のサービス利用日		9月 11日 (月)				
		12日 (火)				
		13日 (水)				
		14日 (木)				
		15日 (金)				
		16日 (土)				
		17日 (日)				
		18日 (月)				
		19日 (火)				
		20日 (水)				
		21日 (木)				
		22日 (金)				
		23日 (土)				
		24日 (日)				
		25日 (月)				
		26日 (火)				
		27日 (水)				
		28日 (木)				
		29日 (金)				
		30日 (土)				
	10月 1日 (日)					
	2日 (月)					
	3日 (火)					
	4日 (水)					
	5日 (木)					
	6日 (金)					
	7日 (土)					
	8日 (日)					
	9日 (月)					
	10日 (火)					
* 種類別通院・入院介護利用日数計	(54) 本人 (被用者保険)					
	(55) 家族 (被用者保険)					
	(56) 国保					
	(57) 医療扶助					
	(58) その他					
	(59) 居宅サービス					
(60) 施設サービス						

☆もし、左票で医療や福祉サービスをまったく利用していない場合はその理由をお答えください。

(61) 医療の受療がなかった理由	1 健康状態が安定しており必要なかった 2 たまたまこの月に診療日がなかった 3 その他
(62) 福祉サービスの利用がなかった理由	1 身体的・精神的に援助を必要としない状態にある 2 家族など援助してくれる人がいる 3 利用の方法や手続きがよくわからない 4 利用したくない 5 その他 (具体的にあればお答えください)

☆一度でも医療や福祉サービスを利用した方は、以下の問いにお答えください。

平成18年4月より自立支援法が施行されましたが、それ以前と比べて次の利用状況に変化がありましたか？	
(63) 医療について	1 受療(受診)をやめた 2 受療(受診)回数を減らした 3 受療(受診)回数変わらない 4 受療(受診)回数を増やした
(64) 福祉サービスについて (左票の福祉サービスの受給状況にあるサービスはすべて含まれます)	1 利用をやめた 2 利用回数を減らした 3 利用回数変わらない 4 利用回数を増やした
(65) 利用者負担(1割)が導入されてから、あなたの負担はどうなりましたか	1 増えた 2 変わらない 3 減った

*この部分は後日調査員が使用しますので記入しないでください。

生活実態調査

【基礎調査票 4】

- ① この調査票は、記入方法の注意説明だけ調査員から受けて、次回調査票の回収に来るときまでに、各自で記入しておいてください。
- ② 基礎調査票4では、指定された日について、あなた自身の1日の行動を記録していただきます。指定日は9月11日～10月10日の間の5日の活動日とお休みの日の合計2日間です。それぞれが記入した日付を調査票の右上に書き込んでいただきます。
- ③ 行動の種類は1つ主にしていることを答えます。例えば、音楽をききながら家事をした場合は、主なこと家事だと答えられますから「10 家事」と答えられます。しかし、テレビ・ラジオを聴視しながらくつろいだ時間は「16 休養・くつろぎ」に含めず、「15 テレビ・ラジオ」を「新聞・雑誌」に記録します。同時にくつろぐための事をしていた場合、それを主な行動と考えるかは、あなたの判断で結構です。（複数選択不可）
- ④ 「一緒にいた人」とは、会話をしようと思えば、その人と普通に話しかけられる程度の距離にいる人のことをいいます。近くに知っている人が居ない場合（通勤中）や睡眠中は「一人で」と答えます。
- ⑤ 「4 ヘルパー等職業介助者」は、本人に資格があるかどうかで判断します。もし資格が無い場合は、「6 ボランティア」（無償）か「7 協力員その他」（有償）を選んで下さい。しかし、その人がたとえ資格をもちていたとしても、報酬を頂いて来ている場合は、「6 ボランティア」（無償）と答えください。
- ⑥ 複数の人と行動を共にしていた場合は、すべての人を選んでください。（複数選択可）
- ⑦ この調査票を記入していた時間は「23 その他」に記入してください。

（注）『行動の種類の内容例示一覧』は、このページの右側にあります。

行動の種類	内容例示	備考
1 睡眠	夜間の睡眠 仮眠	・就寝から起床までの時間を記入する。 ・うたたねは「16 休養・くつろぎ」とする。
2 衣服の洗濯	洗濯 畳拭き 掃除機 化粧 整髪 ひげそり	・自分のための用事をいう。
3 排泄	トイレ	
4 入浴	入浴	
5 食事	家庭での食事・飲食 外食店での食事・飲食 学校給食 仕事場での食事・飲食	・交際のための食事・飲食は「21 交際・つきあい」とする。 ・間食（おやつ）は「16 休養・くつろぎ」とする。
6 通勤・通学	自宅とは通園の行き帰り 自宅と学校（各種学校・専修学校を含む）との行き帰り	・途中で寄り道をした場合も、移動中の時間はここに含める。
7 仕事	通常の仕事 仕事の準備 後片付け 残業 自宅に持ち帰る仕事 アルバイトの収入 自営業の手伝い アルバイト・パートの収入 自営業の手伝い アルバイト・パートの収入 自営業の手伝い	・本人または自身の収入を伴う仕事をいう。 ・休憩時間などのための仕事をしない時間は除く。 ・福祉的就労を含む
8 学業	学校（小・中・高・大・短大・大学・大学院・予備校など）の授業や学習・復習・宿題 校内清掃 ホームルーム	・必修科目として行うものではないクラブ活動・部活動はその内容により「18 趣味・娯楽」または「19 スポーツ」などとする。 ・学習塾での勉強はここに含める。
9 その他、社会活動	政治活動 宗教活動	・当業者団体の活動やNPO団体への参加などはこちらに入る。
10 家事	家事 食卓の片付け 掃除 コミ捨て 洗濯 アイロン 洗濯機の掃除 部屋の掃除 乾物の乾燥 洗濯物の乾燥 洗濯機 食器の洗い 洗濯機 食器の洗い 洗濯機 食器の洗い	・通勤・通学などの送迎はここに含める。
11 介護・看護	家族、他の世帯にいる高齢者に対する日常生活における入浴・トイレ・移動、食事などの手助け 看護	・一時的な病氣などで寝ている家族に対する介護・看護もここに含める。 ・家族以外の人に対する無報酬の介護・看護は「20 ボランティア活動」とする。
12 育児	乳児のおむつの取り替え 乳幼児の世話 子供のつきそい 子供の勉強の相手 子供の遊びの相手	・子供の教育に関する行動を含む。 ・就学後の子供の身の回りの世話は「10 家事」とする。
13 買い物	食料品 日用品 電化製品 レジャー用品など各種の買い物	・ウィンドショッピングも含む。
14 移動 （通勤・通学を除く）	電車やバスに乗っている時間 待ち時間 乗換え時間 自動車に乗っている時間 歩いている時間	・16 通勤・通学以外の移動で、出発地から目的地までの時間をいう。
15 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	テレビ・ラジオの視聴 新聞 雑誌の購読	・テレビから録画したビデオはここに含める。 ・テレビ（録画を含む）・ラジオ（録音を含む）・新聞・雑誌による学習・研究は「17 学習・研究」とする。 ・購入・レンタルなどによるビデオは「17 学習・研究」または「18 趣味 娯楽」などとする。
16 休養・くつろぎ	家族とのんびりした時間 仕事場または学校の休憩時間 おやつ・お茶の時間 仮眠	・テレビ・ラジオなどを視聴しながらくつろいだ時間は「15 テレビ・ラジオ」を含む。
17 学習・研究 （学業以外）	学校・講座・教室 社会通覧勉強 テレビ・ラジオによる学習 研修 クラブ活動 部活動で行うパソコン学習など 自動車教習	・個人の自由時間に行う学習・研究をいう。 ・職場で命ぜられて行われた研修は「17 仕事」とする。 ・学校の宿題の「自由研究」は「18 学業」とする。
18 趣味・娯楽	映画・芸術・スポーツなどの観賞・鑑賞 観光地の観光 トライプ 手芸 集道 園芸 ペットの世話 麻雀 趣味としての読書 テレビゲーム クラブ活動 部活動で行う楽器の演奏	・運動としての散歩を含む。
19 スポーツ	各種運動会 各種運動会や大会 専修での運動会 各種スポーツ 部活動 各種スポーツ 部活動	・NPOや当業者団体の活動などは、無償の奉仕活動であっても「19 その他（社会活動）」とする。
20 ボランティア活動	無償の手助け（子どもや子母、作業、掃除、等）	・交際のための趣味・娯楽、スポーツはそれぞれ「18 趣味 娯楽」、「19 スポーツ」とする。
21 交際・つきあい	食事 友人と飲食 冠婚葬祭 送別会 同窓会への出席及び準備 あいさつ回り 身振い 友達との電話手紙を書く	
22 娯楽・娯楽	娯楽での娯楽・娯楽 自宅での娯楽	
23 その他	求職活動 散歩	・この期間に記入していた時間は、その他に入れてください。

基礎調査票4 ※この票はみなさんが次の訪問までにご記入ください。

この日は、次のいずれの日でしたか		2. この日の気象はどうでしたか	
1. 当日(11月22日以上)		1. 1日中雨が降っていた 2. 一時的に降っていた	
2. 行来(昨日以上の日帰り)		3. 雨は降らなかった	
4. 出張・出張など		5. 晴	
6. 休みの日(休日の日)		7. その他	
1 睡眠	2 衣服の着脱	3 洗濯	4 食事
5 通勤	6 通学	7 仕事	8 学業
9 その他、社会活動	10 家事	11 介護	12 育児
13 買い物	14 移動(通勤・通学を除く)	15 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	16 休養・くつろぎ
17 学習・研究(学業以外)	18 趣味	19 スポーツ	20 ランニング
21 交際・つきあい	22 受診	23 その他	a 一人
b 家族	c 学校・職場の人	d AMI-等関係者	e 番手
f ポランティア	g 協力員	h その他	i その他

第1日		月日(曜日)	
1 睡眠	2 衣服の着脱	3 洗濯	4 食事
5 通勤	6 通学	7 仕事	8 学業
9 その他、社会活動	10 家事	11 介護	12 育児
13 買い物	14 移動(通勤・通学を除く)	15 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	16 休養・くつろぎ
17 学習・研究(学業以外)	18 趣味	19 スポーツ	20 ランニング
21 交際・つきあい	22 受診	23 その他	a 一人
b 家族	c 学校・職場の人	d AMI-等関係者	e 番手
f ポランティア	g 協力員	h その他	i その他

この日は、次のいずれの日でしたか		2. この日の気象はどうでしたか	
1. 当日(11月22日以上)		1. 1日中雨が降っていた 2. 一時的に降っていた	
2. 行来(昨日以上の日帰り)		3. 雨は降らなかった	
4. 出張・出張など		5. 晴	
6. 休みの日(休日の日)		7. その他	
1 睡眠	2 衣服の着脱	3 洗濯	4 食事
5 通勤	6 通学	7 仕事	8 学業
9 その他、社会活動	10 家事	11 介護	12 育児
13 買い物	14 移動(通勤・通学を除く)	15 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	16 休養・くつろぎ
17 学習・研究(学業以外)	18 趣味	19 スポーツ	20 ランニング
21 交際・つきあい	22 受診	23 その他	a 一人
b 家族	c 学校・職場の人	d AMI-等関係者	e 番手
f ポランティア	g 協力員	h その他	i その他

第1日		月日(曜日)	
1 睡眠	2 衣服の着脱	3 洗濯	4 食事
5 通勤	6 通学	7 仕事	8 学業
9 その他、社会活動	10 家事	11 介護	12 育児
13 買い物	14 移動(通勤・通学を除く)	15 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	16 休養・くつろぎ
17 学習・研究(学業以外)	18 趣味	19 スポーツ	20 ランニング
21 交際・つきあい	22 受診	23 その他	a 一人
b 家族	c 学校・職場の人	d AMI-等関係者	e 番手
f ポランティア	g 協力員	h その他	i その他

この日は、次のいずれの日でしたか (当てはまるものをすべてを記入してください)		2 この日の天気はどうでしたか	
1 休日(18:28日以上)	2 行先または居場所(平日以上の移動)	1 1日中雨が降っていた	2 一時的に降っていた
4 外出(仕事など)	5 帰省	3 雨は降らなかった	

行動の種類	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
1 睡眠							
2 衣服の着脱							
3 排入							
4 食事							
5 食							
6 通勤							
7 仕事							
8 学							
9 その他、社会活動							
10 家事							
11 介護							
12 買い物							
13 移動(通勤・通学を除く)							
14 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌							
15 休養・くつろぎ							
16 学習・研究(学業以外)							
17 趣味							
18 通							
19 スポーツ							
20 ボランティア活動							
21 交際・つきあい							
22 受診							
23 その他							

1 一人	2 家族	3 学校・職場の人	4 AMI-等職場介助者	5 番員	6 ボランティア	7 協力員その他
a 一緒にいた人	b 一緒にいた人	c 一緒にいた人	d 一緒にいた人	e 一緒にいた人	f 一緒にいた人	g 一緒にいた人

行動の種類	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
1 睡眠							
2 衣服の着脱							
3 排入							
4 食事							
5 食							
6 通勤							
7 仕事							
8 学							
9 その他、社会活動							
10 家事							
11 介護							
12 買い物							
13 移動(通勤・通学を除く)							
14 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌							
15 休養・くつろぎ							
16 学習・研究(学業以外)							
17 趣味							
18 通							
19 スポーツ							
20 ボランティア活動							
21 交際・つきあい							
22 受診							
23 その他							

1 一人	2 家族	3 学校・職場の人	4 AMI-等職場介助者	5 番員	6 ボランティア	7 協力員その他
a 一緒にいた人	b 一緒にいた人	c 一緒にいた人	d 一緒にいた人	e 一緒にいた人	f 一緒にいた人	g 一緒にいた人

第2日		月 日 (曜日)	
-----	--	----------	--

行動の種類	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
1 睡眠							
2 衣服の着脱							
3 排入							
4 食事							
5 食							
6 通勤							
7 仕事							
8 学							
9 その他、社会活動							
10 家事							
11 介護							
12 買い物							
13 移動(通勤・通学を除く)							
14 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌							
15 休養・くつろぎ							
16 学習・研究(学業以外)							
17 趣味							
18 通							
19 スポーツ							
20 ボランティア活動							
21 交際・つきあい							
22 受診							
23 その他							

1 一人	2 家族	3 学校・職場の人	4 AMI-等職場介助者	5 番員	6 ボランティア	7 協力員その他
a 一緒にいた人	b 一緒にいた人	c 一緒にいた人	d 一緒にいた人	e 一緒にいた人	f 一緒にいた人	g 一緒にいた人

行動の種類	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
1 睡眠							
2 衣服の着脱							
3 排入							
4 食事							
5 食							
6 通勤							
7 仕事							
8 学							
9 その他、社会活動							
10 家事							
11 介護							
12 買い物							
13 移動(通勤・通学を除く)							
14 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌							
15 休養・くつろぎ							
16 学習・研究(学業以外)							
17 趣味							
18 通							
19 スポーツ							
20 ボランティア活動							
21 交際・つきあい							
22 受診							
23 その他							

1 一人	2 家族	3 学校・職場の人	4 AMI-等職場介助者	5 番員	6 ボランティア	7 協力員その他
a 一緒にいた人	b 一緒にいた人	c 一緒にいた人	d 一緒にいた人	e 一緒にいた人	f 一緒にいた人	g 一緒にいた人